

炊き出しボランティアは一時中断します。みなさんのご協力に心から感謝します

共産党市議団が呼びかけ3月19日から実施してきた炊き出しボランティアは、介護施設や新婦人、東葛病院健康友の会、建設業者後援会などが参加し31日まで避難者への昼食の提供をおこなってきました。教会関係や業者関係の方からも協力の申し出がありました。また、たくさんのお米や布団、野菜など支援物資が寄せられました。ご協力いただいたみなさんに、対策本部として心からのお礼を申し上げます。

「提供できるのは場所と毛布とお風呂」との流山市の支援に対して、避難者の方たちの不安や要望を受け止め、自分たちができることをと始めたボランティア

活動です。4月から避難されている方が少なくなり、自炊生活となりますので、炊き出しボランティアは一時中断します。

市広報（4月1日付）では炊き出しは自治会がやったことに…

広報「ながれやま」に、避難所の記事が掲載されていますが、炊き出しは自治会がおこなったことになっていてビックリです。毎日体制を組んで炊き出しをおこなったのは、共産党が呼びかけたボランティアだったはず。自治会にお願いして後で断ったということはありませんが、どうしてこんな話になるのでしょうか。

相馬市民にも流山に避難している方たちにも…全ての被災者に支援の手を

共産党市議団は、避難所以外での被災地から流山市に避難している被災者にも支援の手が届くようにと訴えてきました。

親戚が何家族も流山市に避難しているAさんは、被災者の精神状況が不安定になっているため一時避難所ではなく住宅提供を求めました。しかし、市が応じなかったため、生活保護を受けることになりましたが、そこまでいくのが大変だったと言います。

流山市内に避難してきた方たちにも、就学への支援、医療費の免除、介護サービス利用料の免除、生活資金の貸付制度など活用できる制度があります。こうした制度があることを、もれなく市内の被災者にお知らせすることが必要ではないでしょうか。

流山市社会保障推進協議会は、7日午後3時から震災対策で対市交渉をおこなう予定です。全ての被災者を対象にした救援活動が求められています。

●相馬への職員派遣で両市長が合意。来週には職員2名を派遣。避難者の受け入れ準備も

4月1日付「朝日」が、「流山市長が3月30日に相馬市を訪れ、義援金を届けるとともに、仮設住宅建設や福祉事務などの応援のために市職員を派遣することで合意した」と報道しました。

この間、共産党市議団が、申し入れで職員派遣を訴え続けてきましたが、ようやく形となりました。相馬市からの要請にもとづく避難者の受け入れも、ジェト

ロ社宅の受け入れ準備がすすんでいるようです。

職員派遣では、建築住宅課の職員2名が月曜日から相馬市に派遣されます。派遣期間は1ヶ月間、ローテーションして対応するとのことでした。

共産党市議団は、3月11日の地震発生以来、情報がまったく伝わらない中で、私たち自身が情報発信源となって、被害の実態、行政や共産党の取り組みなどを届けようと連日ニュースを発行し続けてきました。いよいよ選挙の月を迎え、わたしたちは候補者として、有権者への訴えをひろげていかなければなりません。今後も、可能な限り、ニュース発行に努めていきます。みなさんのご協力をお願いします。

●震災にかかわる行政の窓口は

流山市東日本大震災相談センター

7158-1111 市役所

●救援活動やお困り事など何でもお寄せください

日本共産党流山市震災対策本部

いぬい紳一郎事務所 7157-6140

小田桐たかし事務所 7154-8253

徳増きよ子事務所 7144-1753

植田和子事務所 7154-0288

救援活動の情報をお寄せ下さい

市議団のHPもご覧ください (FAX7157-6140)

<http://www.geocities.jp/kfbkd645/>